

防災検定協会（東京）が、11月から「ジュニア防災検定」を東京と大阪でスタートする。縁があつて、同協会の理事に就任した。

泉州 暮らし

東日本大震災の際、岩手県釜石市の子供たちは防災や自主避難について学習し、知識だけではなく感覚的なものとして体で覚えていたから、自らの判断で大津波から逃げ切っ

た。「釜石の奇跡」である。同じ釜石でも、ハザードマップを信じて避難した大人は、マップ上で津波が来ないとされた場所で犠牲となった。教育の大切さを痛感し、大阪湾岸襲来する可能性があるというのに。例えば、神戸沖から泉南沖にかけての大阪湾底に確認されている活断層「大阪湾断層帯」の存在がそれ。これが動けば、あつという間に津波が

ジュニア防災検定の意義

に住んでいる人間として、受験や入試と一線を画した防災教育の在り方を考える一つのきっかけとして、協会と検定の趣旨に賛同した次第である。そのきっかけとして検定を利用するのは意義があると思う。

まだ知られていないことは多い。

文化部長 藤浦淳（貝塚市在住）